

令和7年度土木関係公共事業等箇所付けについて（当初予算分）

1 箇所付け方針

令和の公共インフラニューディール政策を推進するため、治水・海岸・土砂災害対策や、橋梁、トンネルなどの老朽化対策を前倒しで実施し、幹線道路や歩道、消雪施設の整備、港湾の機能強化など、物流と生活を支える社会資本の整備に努め、県土強靱化を進める。

2 今回の箇所数及び箇所付金額（事業費ベース）

合計 305箇所 22,103百万円

公共事業

（金額単位：百万円）

事業区分	今回箇所付分				箇所付金額
	新規箇所数	継続箇所数	合計	うち完了	
道路	9	111	120	6	10,069
河川・海岸	0	36	36	1	2,087
砂防	10	95	105	3	3,281
港湾・空港	1	17	18	1	1,536
都市計画	0	21	21	2	3,987
下水道		5	5		1,143
公共計	20	285	305	13	22,103

※「河川・海岸」：河川事業及び海岸事業 「港湾・空港」：港湾事業及び空港事業

3 代表箇所

番号	事業名	箇所名 (地区名)	主な事業内容	事業主体	新規区分	事業期間
1	道路橋りょう改築費	(国)304号 (南砺市荒木)	道路改良工事 (道路拡幅・電線共同溝)	県		R4～
2	道路橋りょう改築費	(主)高岡環状線 (高岡市佐野～石塚)	道路改良工事(高架化)	県	○	R7～
3	道路橋りょう改築費	(主)富山環状線 (富山市太田南町～本郷町)	交差点改良工事	県		H30～R7
4	道路総合交付金事業費	(主)宇奈月大沢野線 (魚津市青柳～大海寺野)	道路改良工事(バイパス)	県		H16～
5	道路橋りょう改築費	(主)魚津生地入善線 下黒部橋 (黒部市荒俣～入善町高島)	橋梁修繕工事	県		H25～
6	河川改修費	二級河川白岩川水系白岩川 (富山市水橋島等外)	橋梁架替工	県		R2～
7	砂防関係施設整備費	常願寺川水系 小豆谷 (立山町芦峠寺)	砂防堰堤工	県		H29～
8	港湾予防保全事業費	伏木地区 伏木港大橋 (高岡市荻布ほか)	老朽化対策及び耐震補強	県		H30～

このほかに、工期1年未満の債務負担行為（49箇所、2,631百万円）を設定している。

令和7年度土木関係公共事業等箇所付け（当初予算分）の代表箇所について

1 道路橋りょう改築費 一般国道 304号（南砺市荒木地内）

- ・本路線は、石川県金沢市を起点とし富山県南砺市下梨に至る幹線道路である。
- ・また、災害時に避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動を支える緊急輸送道路に指定されており、防災上も重要な路線である。
- ・本事業区間は、道路幅員が狭く一部歩道が未設置であることから、自転車・歩行者と自動車が輻輳する危険な状態となっており、また、沿道には電柱が立ち並んでいることから、災害時に倒壊や電線切断による通行障害などの危険性が懸念される。
- ・このため、道路拡幅及び無電柱化を行い、沿道地域の円滑な交通や安全性の向上を図るとともに、災害時における防災機能の向上を図るものである。
- ・令和7年度は物件調査、物件補償を実施する。

2 道路橋りょう改築費 主要地方道 高岡環状線（高岡市佐野～石塚）

- ・主要地方道高岡環状線は、能越自動車道などと一体となって広域的な道路ネットワークを構築する高規格道路「高岡環状道路」の一部を形成する幹線道路である。
- ・当該道路は、平成26年に副道が全線開通し、能越自動車道を含む西側からの交通量が新たに発生したことや、北陸新幹線新高岡駅および大型商業施設へのアクセス道路として需要が増えたことから、二塚交差点、佐野交差点および高岡インター入口交差点において渋滞が発生しており、主要渋滞箇所を選定されている。
- ・現在、二塚交差点では高岡環状線3期事業（上伏間江～佐野）、高岡インター入口交差点では国による六家立体事業にて高架化が進められているところであり、佐野交差点においても早期の対策が必要となっている。このため、当該区間を事業化し、佐野交差点の渋滞対策を切れ目なく進めるとともに、南郷大橋から高岡ICまでの一連区間の交通の円滑化を図るものである。
- ・令和7年度は路線測量、地質調査を実施する。

3 道路橋りょう改築費 主要地方道 富山環状線（富山市太田南町～本郷町）

- ・本路線は富山市街地を通過する交通の分散を促す環状道路である。
- ・本事業区間は、交通量が多いにも関わらず右折レーンがないことから、朝夕の時間帯に渋滞が発生しており、主要渋滞箇所を選定されている。また、太田小学校及び堀川南小学校の通学路として使用されているが、路肩が狭く歩道も未整備であるため、児童・生徒の通学時には大変危険な状況となっている。
- ・このため、右折レーンの設置及び歩道の新設により渋滞の緩和や歩行者等の安全を確保するものである。
- ・令和7年度は舗装工、消雪工を行う。

4 道路総合交付金事業費 主要地方道 ^{うなづきおおさわのせん}宇奈月大沢野線 (魚津市^{あおやなぎ}青柳^{だいかいじの}～大海寺野)

- ・本路線は、黒部市、魚津市、滑川市、上市町、立山町、富山市の山間部を広域的に結ぶ、重要な幹線道路であり、また、観光や産業活動を支える重要な路線である。
- ・本事業区間は、黒部宇奈月温泉駅や観光施設への主要アクセス道路であるが、道路幅員が狭小であることから安全で円滑な通行に支障をきたしている。
- ・このため、バイパス整備を行い観光施設などへのアクセス性を向上させ、広域的な周遊観光ルートの確保を図るものである。
- ・令和7年度は、道路改良工事を行う。

5 道路橋りょう改築費 主要地方道 ^{うおづいくじにゆうぜん}魚津生地入善線 ^{しもくろべはし}下黒部橋 (黒部市^{あらまた}荒俣^{たかばたけ}～入善町高畠)

- ・本路線は、魚津市を起点とし黒部市を経由し、入善町の市街地へ至る主要な路線であり、緊急輸送道路に指定されている。
- ・本橋は、昭和41年の架橋から59年が経過し、伸縮装置、桁や高欄の塗装が劣化している。このことから、本事業において早期に補修工事を行い、安全で信頼性の高い道路ネットワークづくりを進めるものである。
- ・令和7年度当初予算では、再塗装を実施する。

6 河川改修費 二級河川^{しらいわがわ}白岩川水系^{しらいわがわ}白岩川 (富山市^{みずはしはたけら}水橋 畠 等外)

- ・二級河川白岩川水系白岩川は、川幅が狭いことから、洪水による被害がたびたび発生しており、昭和44年の豪雨では、浸水面積1,025ha、浸水戸数3,880戸、また平成10年8月7日の豪雨では、支川の川原田川の沿川で浸水面積10ha、床下浸水戸数130戸の浸水被害が発生した。
- ・このため、昭和45年度に河川改修事業に着手し、これまでに鉄道橋(あいの風とやま鉄道)より上流約4,800mの改修、および河口部から水橋大橋下流、小出川との合流点の護岸整備が完了した。
- ・本事業は上記の整備に引き続き、流下能力が不足し、ボトルネックとなっている水橋大橋の架替えとともに、河道の拡幅に取り組んでいるものである。
- ・令和7年度は、橋梁架替工(上部工)を実施する。

7 砂防関係施設整備費 ^{じょうがんじがわ}常願寺川水系^{あずきだに}小豆谷 (中新川郡立山町^{あしくらじ}芦峯寺)

- ・小豆谷は、中新川郡立山町芦峯寺地内に位置する土石流危険渓流であり、流域内には、流木や不安定な土砂が堆積している。
- ・今後の豪雨により、土石流が発生すると下流には指定避難所(旧立山芦峯小学校)、人家、県道等に甚大な被害を及ぼす恐れがあることから、土砂災害から住民の生命・財産を守るべく堰堤工の整備を行うものである。
- ・令和7年度当初予算では、堰堤工の工事を実施する。

8 港湾予防保全事業費 伏木地区^{ふしきこうおおはし}伏木港大橋（高岡市^{おぎの}荻布外）

- 伏木港大橋は、伏木地区と高岡市街地を結ぶ臨港道路1号線にある小矢部川に架かる橋梁である。また、当該路線は沿線の企業が貨物を円滑に輸送するための重要な路線であり、市街地を周回する国道415号のバイパス路としても利用される交通量の多い路線である。
- 本橋梁は建設後50年以上が経過し、上下部工におけるコンクリート剥落、鉄筋露出、ASRによるひびわれ、箱桁内部の腐食、塗装の劣化が発生するなど、経年劣化による老朽化が著しく、加えて耐震機能も十分でない状況となっている。
- 老朽化箇所の補修とあわせて耐震補強を行うことで、橋梁の長寿命化を図るとともに、円滑な物流の確保及び災害に強い安全・安心な交通を確保するもの。